

荒川区議会議員 「体は細いが、芯は太い。」

清水ひろし



ゆいの会(無所属)

からの手紙

マンション管理士・児童発達支援士

令和 8 (2026) 年 10 月号
第 111 号

9/14 に始まった荒川区議会 9 月会議は 10/14 に閉会し、補正予算等が可決成立、昨年度決算が認定されました。11 月会議には荒川区基本構想（案）が提出されます。基本構想は令和 22（2040）年の荒川区の未来をつくる指針となる計画です。また、令和 16（2034）年に予定していた区役所庁舎建替えは、先送りされることが示されました。

何の数字？

10.853 m²

荒川区基本構想 「ひとがいきる ともにつくる あらかわ」

基本構想とは、各自治体のビジョン、基本目標、政策及び方向性を示すものです。現在の計画が制定から約 20 年が経過したため、社会情勢の変化等も踏まえ、新たに基本構想を定めます。計画期間を令和 22（2040）年までとし、その実現に向け、施策や事業を展開するための行政運営計画（期間 5 年間）を立てて見直しを行っていく予定です。

未来創造ビジョン「ひとがいきる ともにつくる あらかわ」

基本理念 ①幸せを紡ぎ、幸せを感じる ②共に支え、共に育む ③未来につなぎ、未来をつくる

将来にわたって
「ひと」が育つまち

みんなが支え合い、生きがい
をもって過ごせるまち

人情・産業・文化が
息づくにぎわいのまち

安全安心で快適に
暮らせるまち

子育て／教育／若者／
生涯学習・スポーツ

健康／高齢／障がい／
地域福祉

つながり／産業／
観光・交流／文化・芸術

防災／生活安全／都市基盤／
住環境／環境・資源循環

分野横断的な取組 持続可能な行財政運営／区の魅力向上とシビックプライドの形成／協働・共創の推進／人権・平和・多様性の尊重

—区役所庁舎建替え 計画は先送りへ—

計画をしていた区役所本庁舎の建替えは、工事費の高騰もあり、先送りする運びとなりました。

当初は来年度から基本設計に入り、令和 16（2034）年に新庁舎供用開始を予定していました。今後は財政状況等を勘案しながら、進めていくことになります。（右表は現庁舎の概要）



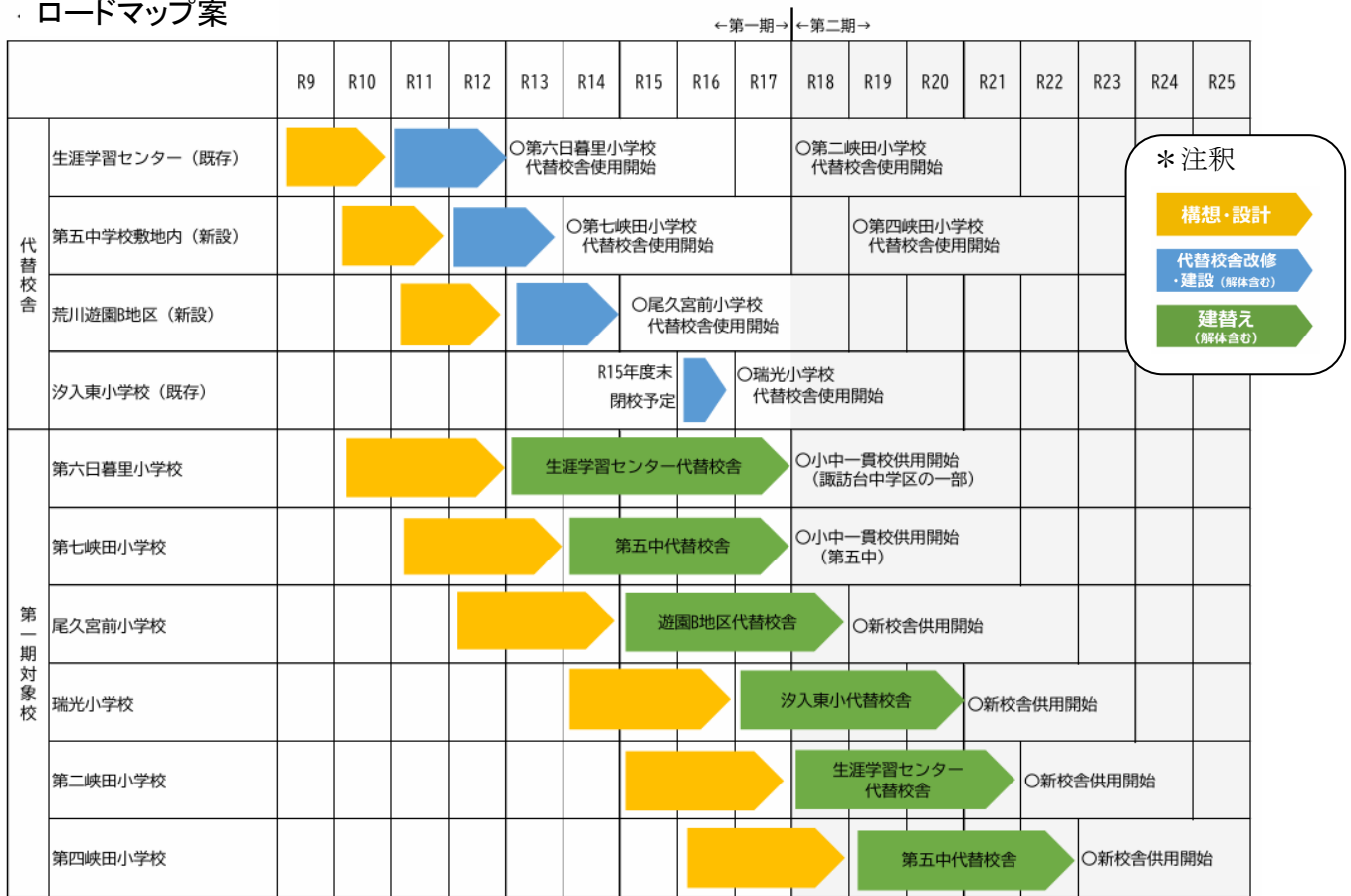
建築面積	3,780 m ²
延床面積	16,770 m ²
階 数	地下 1 階 地上 7 階
構造	SRC 造り
竣工	昭和 43（1968）年 7 月
耐震性	免振工事实施 平成 23（2011）年

何の数字？ 10.853 m²：第五中学校の敷地面積。区立小学校 24 校、中学校 10 校のなかで、最も広い敷地面積。以下、第七峽田小学校、第三中学校、汐入小学校が 10,000 m²を超える。最小は汐入東小学校の 3,200 m²、次いで第二日暮里小学校 3,697 m²。建替えは、狭い敷地面積のため居ながら工事が難しく、代替校舎を活用して行う。

学校建替え計画

区立小中学校の校舎は、半数以上が築 50 年以上経過しています。教育委員会は、建替えを実施していくにあたり、学校施設建替え計画をとりまとめました。計画期間は 3 期（各概ね 10 年間）に分け、30 年間程度としています。令和 13 年度の六日小から順次進めていく予定です。

ロードマップ案



小 中 一 貫 教 育	第六日暮里小 新設の中学校	・ 第六日暮里小敷地に一貫校建設
	第七峡田小 第五中	・ 第七峡田小敷地に一貫校建設 ・ 第五中跡地は代替校舎を建設
	赤土小 第九中	・ 赤土小敷地に一貫校建設 ・ 第九中跡地は第二校庭として利用を想定

適 正 配 置 校	対象校	統合等について
	汐入東小	汐入小と統合 閉校は令和 15（2033）年度末
	第六瑞光小	令和 20（2038）年度末まで継続 既存校舎解体後は検討

本会議質問

9 月会議の初日、今年 3 回目の本会議質問に立ちました。

—質問項目— ○荒川区基本構想について

○路上喫煙について

○ごみ集積所・資源回収拠点における不適正排出について



清水啓史（51 歳 昭和 50（1975）年 5/7 日生 卯年 A 型 おうし座）

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員。マンション管理士、児童発達支援士
平成 19（2007）年 荒川区議選初出馬初当選。現在 5 期目。無所属。

荒川区議会では文教・子育て支援委員会委員、花と緑推進調査特別委員会委員長、
議会運営委員会副委員長。会派「ゆいの会」幹事長。
家族は妻と娘（高 3）、トイブードル（チョコ）



〒116-0013 荒川区西日暮里 2-28-8

TEL/FAX 03-3801-6325

E-mail info@shimizuhiroshi.com